

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.6.3	会 場	TKOいちごアリーナ	試合No.	厚 木 東	16	23	15	25		79
審 判	(主) 長谷川 裕	(副) 三好 啓太	一色 渉	M3	取 手 第 二	12	25	25	19		81

神奈川県立厚木東高等学校(神奈川)

コーチ 永田 雅嗣郎 A・コーチ 三橋 功 マネジャー

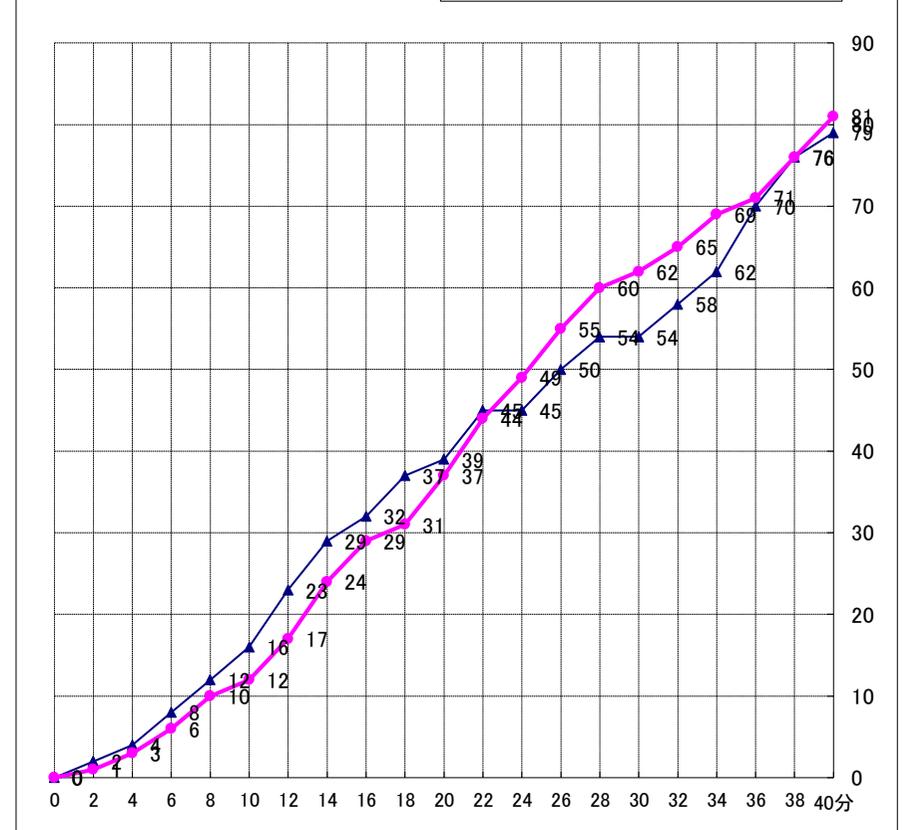
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
吉田 烈	4	11	1	3	4	12	0	0	2	3	5	8
高橋 浪磨	5	14	2	5	4	7	0	0	2	1	2	3
齋藤 仙太	6	10	1	4	3	5	1	3	1	0	5	5
小宮 優大	7	21	2	8	7	16	1	2	1	2	11	13
大野 航	8	2	0	10	1	2	0	0	3	2	4	6
天宮 直之	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
貞苅 陽大	10	2	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2
吉田 楓	11	2	0	1	1	2	0	0	2	0	4	4
邊見 将太	12	0	0	0	0	3	0	0	2	1	0	1
宮本 博人	13											
長野 友紀	14											
松尾 魁理	15											
藪下 輝紘	16											
山部 聖	17	2	0	1	1	1	0	0	3	0	3	3
中島 智久	18	15	3	9	2	4	2	4	4	0	1	1
チ ャ ム									0	2	0	2
合 計		79	9	41	24	53	4	9	20	11	39	50
		成功率	22.0%		45.3%		44.4%					

茨城県立取手第二高等学校(茨城)

コーチ 佐藤 豊文 A・コーチ 山口 淳一 マネジャー 柄澤 慎太郎

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
田中 辰弥	4	12	2	3	3	7	0	1	1	0	1	1
山田 康祐	5											
中川 祥一郎	6	34	6	20	7	13	2	3	0	1	17	18
宇留嶋 晴哉	7											
坪田 麗	8	6	0	0	3	3	0	1	1	3	1	4
古沢 斗真	9	3	0	0	1	2	1	2	2	3	7	10
宮内 郁人	10	15	1	6	5	10	2	2	3	0	4	4
佐野 豊	11	5	0	3	1	6	3	4	0	0	3	3
小林 遼	12	3	0	1	1	3	1	2	1	0	5	5
鈴木 勇衣	13	3	0	0	1	2	1	2	0	0	1	1
濱野 敦	14											
田村 佑人	15											
野島 海	16											
石黒 亮平	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
斉藤 巳由宇	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チ ャ ム									0	1	5	6
合 計		81	9	33	22	46	10	17	8	8	44	52
		成功率	27.3%		47.8%		58.8%					

得点経過



戦評

Bブロック決勝戦。県立高同士の対戦となった。頂点に立つのはどちらのチームか？定刻から30分遅れて13時試合開始。両チーム決勝戦の緊張からか得点が入らない。先制したのは厚木東ではあるが、開始4分で4対3のロースコア。中盤、厚木東の強固なディフェンスに取手第二はなかなかドライブできない。厚木東もシュートまではたどり着くが得点はできず1Q16対12と厚木東の4点リードで終えた。2Q取手第二は#6中川にボールを集めインサイドで勝負。その後も#10宮内の3Pで点差を詰める。対する厚木東は#18中島のアウトサイドシュートやアシストなどで応戦。残り時間4分、取手第二はスティールからファストブレイクを決め同点に追いつくが、厚木東も#6齋藤の3Pなどで寄せ付けない。終了間際、取手第二の#6中川がブザービートで3Pを決め39対37と取手第二が2点差に迫って前半を終えた。3Q 開始直後、取手第二は#6中川が3Pを決め、この試合、初めてのリードを奪う。また、高い位置からのディフェンスでプレッシャーをかけ、更には#4田中のドライブや#13のトリッキーなアシストなどで点差を徐々に広げていく。厚木東も#4吉田の3Pを含む連続得点で喰らいつづけて追いつくことができず62対54と取手第二がリードした。4Q取手第二の勢いが止まらない。#6の3Pで更にリードを広げる。負けられない厚木東も#18中島のアウトサイドシュート、更には#6齋藤がバスケットカウントを奪い、11点差まで開いた得点を残り5分で同点に追いつく。両チーム一歩も引かない接戦。残り時間4秒まで同点。厚木東が最後のシュートを放つがリングに嫌われ、こぼれたボールを取手第二の#4田中が劇的なブザービートを決め81対79で取手第二が優勝を決めた。

記入者 草地 由紀也